

XC30 システム利用申請書

本申請書は XC30 の通常のカテゴリに申請するためのものです。大規模実行用の申請書は別となりますのでご注意ください。また、記述のスペースが足りない場合、太字でない部分の記述は消して下さい。

1 研究の意義・目的

研究の意義や目的をわかりやすくまとめてください。その際、研究の学術的な背景、今回の研究で明らかにしようとしている点、特色（独自性）がわかるように記載してください。また、全体を通して web ページの「審査の流れ」も参考にしてください。(1 ページ以内)

(記載はこのページの範囲を超えないようにしてください)

2 研究計画・方法

研究計画、方法を具体的にまとめてください。その際、本年度中に期待される具体的な成果がわかるように述べてください。また、研究方法に新しい視点や独自性があれば明記してください。
(1 ページ以内)

(記載はこのページの範囲を超えないようにしてください)

3 計算コードの開発・最適化・準備状況

(§ 3.1、3.2 合わせて1 ページ以内)

3.1 計算コードの開発・最適化状況 (XC-Trial に申請する場合は不要)

計算コードの最適化状況、また、過去に利用したことのある場合はその利用状況を含む) についてそれぞれ述べてください。また、スケーラビリティ等のデータを用いて効率の良い計算が期待できることを示してください。

特に XC-A に申請する場合は 1024 並列以上を用いた場合のスケーラビリティを示してください。

カテゴリ XC-Trial に申請される方は、このサブセクションは白紙のまま提出してください。

3.2 必要な計算資源の見込み

申請課題を実行するのに必要となる計算資源の見込み (ノード数、CPU コア数、メモリ量、ひとつのモデル計算に要する時間、総計算時間など) について述べてください。

(記載はこのページの範囲を超えないようにしてください)

4 関連する過去の研究課題とその成果

(注・この項目は XC-S または XC-A への申請者のみ記入必須です)

本申請課題に関連して過去三年間に CfCA の共同利用計算機を利用した経験がある場合には、その時に採択されたカテゴリを記してください。また、本項下段の「5 参考文献」内に当該の申請課題に関連して出版された論文等が含まれていれば、その文献番号を「出版物」内に記してください。ここでは引用すべきものは CfCA の共同利用計算機を利用した業績による出版物のみを記すものとします。また、もしも必要であれば備考欄により詳しい情報を記しても構いません。本項目の記載は参考文献リストを含めてこのページの範囲を超えないようにしてください。

記入例 (2015 年度申請の場合)

年度	カテゴリ	出版物
2012 前期		
2012 後期	XT4B, SX9B	
2013 前期	XC-B	
2013 後期	XC-B	[3]
2014 前期	XC-A	[3]
2014 後期	XC-A, XC-S	[2, 3]

※ 2015 年度ユーザ追加・カテゴリ変更募集の場合は、2012 年度後期～2015 年度前期でご記入ください。

備考欄

5 参考文献

[1] 以下は例。査読、非査読の別も明記してください。

[2] Suzuki, A., & Shigeyama, T. 2013, ApJL, 764, L12 (SX9B, 査読)

[3] Takiwaki, T., Kotake, K. & Suwa, Y. 2013, ApJ, 786 83 (XT4B, XC-B, XC-A, 査読)

(記載はこのページの範囲を超えないようにしてください)